

計量計測関連企業の2022年3月期第1四半期決算が出揃う 各企業の第1四半期決算短信から一部を抜粋



計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071

https://www.keiryu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 27,500円(消費税込み)

定量計量専用機
Pack NAVI
速くハカル、
楽にツメル

Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

計量計測関連企業の2022年3月期第1四半期決算が出揃った。前期は過去に経験のないコロナ禍を過ぎたため、業績は厳しい結果となった。今期は、経験をふまえて大きく伸ばしている企業や、依然として抜け出せてない結果となった企業がみられた。各企業の詳細は第1四半期決算短信から一部抜粋したものを紹介する。

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。



デジタルスケール TL-280
見やすいバックライト付大型表示
¥33,000(税抜)

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

要が回復し、油圧機器の売上も増加しました。この結果、当事業の売上高は12.9億6000万円(前年同期比25.0%増)となり、営業利益は売上高の増加などにより、13億7300万円(同78.6%増)となりました。

①計測・計量機器事業
日本においては、計量機器の需要の回復を受け、売上、利益ともに増加しております。米州においては、主力の計量機器の需要回復、金属検出器・ウェイトチェッカの拡販活動および前連結会計年度下期より受注が回復基調となった計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)での生産も進んだことにより売上、利益ともに大きく増加しております。

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

島津製作所

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

計測機器事業は、ヘルスケア、官庁医学分野向けに液体クロマトグラフ、質量分析システムが好調に推移しました。医用機器事業は、コロナ禍で延期されていた設備投資が再開され、需要は回復基調となりました。産業機器事業は、半導体製造装置向けターボ分子ポンプが好調に推移したことに加え、設備投資の回復に伴い油圧機器も増加しました。航空機器事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく推移しました。

120年の伝統とイノベーションの計量装置総合システムメーカーです。

OMI 計量と制御の技術集団

OMIの製品く支えるのはイノベーションく

- 各種工業用プラント
- 各種農水産物選別プラント
- 液体・粉粒体充填装置
- 配合・調合計量システム 設計・製造
- トラックスケール計量・データ管理システム
- トレーサビリティ管理システム
- 各種穀物用計量機

多彩なニーズに120年の技術開発とノウハウでご提案します。

計量システムの専門メーカー

伝統の技術・先進の技術・信頼の技術

近江度量衡株式会社

本社 〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-11-70
TEL.077-562-7111 FAX.077-562-7116

【国内拠点】 本社草津工場・東京・札幌・帯広・仙台・新潟・熊本・久留米
【海外拠点】 韓国(仁川)・中国(上海)・タイ(バンコク)
URL: http://www.omiscale.co.jp

圧力計測機器の校正は長野計器グループへ

豊富な校正機器、充実した校正設備で様々なニーズにお応えします。

高いスキルを持ったスタッフが丁寧にJCSS校正作業をおこなっています。

長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。

JCSS 0080 JCSS 0143

長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。

長野計器 本社/〒143-0022 東京都大田区東馬込一丁目30番4号 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
http://www.naganokeiki.co.jp/ お問い合わせはフリーコール/0120-10-8790

ナガノ計装 本社/東京営業所 〒143-0022 東京都大田区東馬込一丁目30番4号(長野計器ビル)
TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 http://www.nagano-keiso.co.jp

今週の主な記事

計量計測関連企業の2022年3月期第1四半期決算が出揃う(1)

寄稿：田中亀仁氏、横須賀健治氏、岡和雄氏、学校歴は人の仕事能力の表現形式ではない(7) (4) (5) 特集とつきようの計量No.280 (6) (1) 指定検定機関「指定の申請の考え方」第6版の(8) 変更箇所(計工連調べ) (8) 社説「近海の水温が高いが海洋気温は違つ」島津と堀場の共同開発の新製品 (9) 新たな知的基盤整備計画(計量標準・計測分野)(6) (11) 愛媛県計量振興協会が誕生、NITE講座の受講生募集 (12) 面

同期比29.2・3%増、経常利益は9億5600万円(前年同期比24.4・9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億7000万円(前年同期比58.4・0%増)となりました。

要が回復し、油圧機器の売上も増加しました。この結果、当事業の売上高は12.9億6000万円(前年同期比25.0%増)となり、営業利益は売上高の増加などにより、13億7300万円(同78.6%増)となりました。

①計測・計量機器事業
日本においては、計量機器の需要の回復を受け、売上、利益ともに増加しております。米州においては、主力の計量機器の需要回復、金属検出器・ウェイトチェッカの拡販活動および前連結会計年度下期より受注が回復基調となった計測・制御・シミュレーションシステム(DSPシステム)での生産も進んだことにより売上、利益ともに大きく増加しております。